

## 【情報モラルの指導】での活用事例

(中学校全学年年)

### 【活用した資料】

- 中学校版「心みつめて」 p.124 第三章「自分の人生だから、自律的に生きたい」
- 中学校版「心みつめて」 p.130 第三章「『礼儀』の基本を知っていますか？」
- 中学校版「心みつめて」 p.132 第三章「『思いやり』ってなんだろう？」
- 中学校版「心みつめて」 p.138 第三章「広い心で、謙虚に学ぶ」
- 中学校版「心みつめて」 p.148 第三章「社会の秩序と規律を高める」

### 【学習指導要領に示されている道徳の内容】

- 1-(3)「自律の精神を重んじ、自主的に考え、誠実に実行してその結果に責任をもつ。」
- 2-(1)「礼儀の意義を理解し、時と場に応じた適切な言動をとる。」
- 2-(2)「温かい人間愛の精神を深め、他の人々に対し思いやりの心をもつ」
- 2-(5)「それぞれの個性や立場を尊重し、いろいろな物の見方や考え方があることを理解して、寛容の心をもち謙虚に他に学ぶ。」
- 4-(1)「法やきまりの意義を理解し、遵守するとともに、自他の権利を重んじ義務を確実に果たして、社会の秩序と規律を高めるように努める。」

### 【道徳の時間で】

道徳の時間に、2-(5)の内容について、インターネットでのコミュニケーションの在り方について描かれている「言葉の向こうに」(文部科学省「私たちの道徳」)を用いて授業を行った際に、終末に「心みつめて」第三章 p.138~p.139「広い心で、謙虚に学ぶ」を全員で読みました。そのあと、p.139の「自分とは異なるものの見方や考え方から学んだ経験を書いてみよう。」の欄に、各自の経験を書かせ、どのようなことを学べたのか、交流をさせました。資料で考えた道徳的価値について、自分の問題として考えさせることができ、道徳的価値への自覚を深めることができました。

### 【技術・家庭科の授業で】

技術・家庭科の技術分野「情報に関する技術」で情報モラルについて学習する際に、「心みつめて」第三章 p.148「社会の秩序と規律を高める」の中の「法やきまりはなんのためにあるのだろうか？」を全員で読み、著作権や人権について考える導入としました。著作権はなんのためにあるのか、人権はなぜ守られなければならないのか、といったことについて考えさせた上で、情報モラルについて学習することができました。

### 【学級活動で】

SNSやメールなどで起こりうるトラブルについて、学級活動で考えさせ、望ましい人間関係を確立させていくために、第三章を活用しました。

- ・「周りに流されて不用意な言動をしたとき」→p.124「自分の人生だから、自律的に生きたい」
  - ・「失礼な書き込みで相手を不愉快にさせたとき」→p.130「『礼儀』の基本を知っていますか？」
  - ・「相手がどう受け止めるかを考えずに行動したとき」→p.132「『思いやり』ってなんだろう？」
- などのように、取り上げるケースに応じて「心みつめて」を活用し、何がいけないのか、どのようなことを意識しながら行動していけばよいのかを、一人一人に考えさせることができました。